

1. 貧困の世代間連鎖について

家庭の経済状況と子どもの学力との間には一定の相関関係があり、学びや就職が希望どおりにならないことなどが相まって、子どもたちの貧困の世代間連鎖が危惧される状況にある。また、コロナ禍において、経済面でより厳しい家庭が増える中で、貧困対策に係る総合的な取組が必要とされている。

2. 貧困の世代間連鎖を断ち切るための取組について

本県においては、「第2期教育等の振興に関する施策の大綱」及び「第3期高知県教育振興基本計画」に基づき、多様な課題を抱え厳しい環境にある子どもたちを支えるため、就学前から高等学校まで切れ目のない支援を行っている。（※「第2期高知県の子どもへの貧困対策推進計画」にも位置付け）（次ページ参照）

3. 現状と課題（就職アドバイザー・スクールソーシャルワーカーの聞き取りより）

【課題認識】

- 学力だけでは貧困の世代間連鎖を断ち切ることは難しい
教科指導だけではなく、児童生徒の実態に沿った多様な教育が必要
- 就学前からの早めの取組が必要である
- 児童生徒が自身の将来像をイメージできていない
- 職業に直結する資格・技術の習得が重要
- 児童生徒の生活状況の把握が十分でない場合がある

【必要な対応の視点】

- 就労等に導くための各校種段階におけるキャリア教育の充実
- 多様なロールモデルとの出会いの場の提供
- 産業系専門高校等に係る進路情報の充実、生活実態も踏まえた進路指導
- 産業教育の充実
- 外部専門家等と連携した生活把握の充実、支援制度等の周知強化



社会的自立に向けて、各校種や地域が連携したキャリア教育・進路指導等の取組強化が必要

【キャリア教育等に係る現在の取組】

就学前	小学校	中学校	高等学校
○自発性・自主性、人と関わる力の育成に向けた取組の充実 → 園内研修の支援 等	○目的意識の醸成や社会性の育成に向けた取組の充実 → 「キャリア・パスポート」の活用促進等（キャリア・パスポート活用推進連絡協議会：中高合同） → 企業・学校見学や就業体験・インターンシップ等の実施		○産業教育の充実 → 産業教育指導力の向上 等
○地域全体で子どもを見守り育てる取組の推進 → 地域学校協働活動の充実、コミュニティ・スクールにおける取組の充実、生活・文化・自然体験活動支援 等			
○自己の能力・適性の理解を深め、将来の進路を選択するための能力を養うための指導・支援の充実	○多様な学び・進路への対応等 → 専門人材の活用 → 遠隔教育の推進		
○保幼小の円滑な連携・接続の推進 → 保幼小連携・接続推進支援 等			
○保育者の親育ち支援力の強化			
○関係機関と連携した情報共有 → スクールソーシャルワーカー等の活用、心の教育センターにおける相談支援 等			

【取組強化に向けた視点】

- ✓キャリア教育等の取組について、各学校段階における到達目標・目指すべき児童生徒の姿の情報共有が必要ではないか
- ✓学校段階間の情報共有や経済的自立に向けた進路指導が必要ではないか
- ✓具体的なロールモデルを示していく必要があるのではないか
- ✓地域や関係機関と連携してキャリア教育をさらに充実させていく必要があるのではないか
- ✓産業系専門高校の魅力向上と、効果的な情報発信が必要ではないか
- ✓スクールソーシャルワーカー等との連携により、チームとしての実態把握、対応を強化すべきではないか
- 上記のような視点について、学校現場の意見等も踏まえ、具体的な施策へ反映

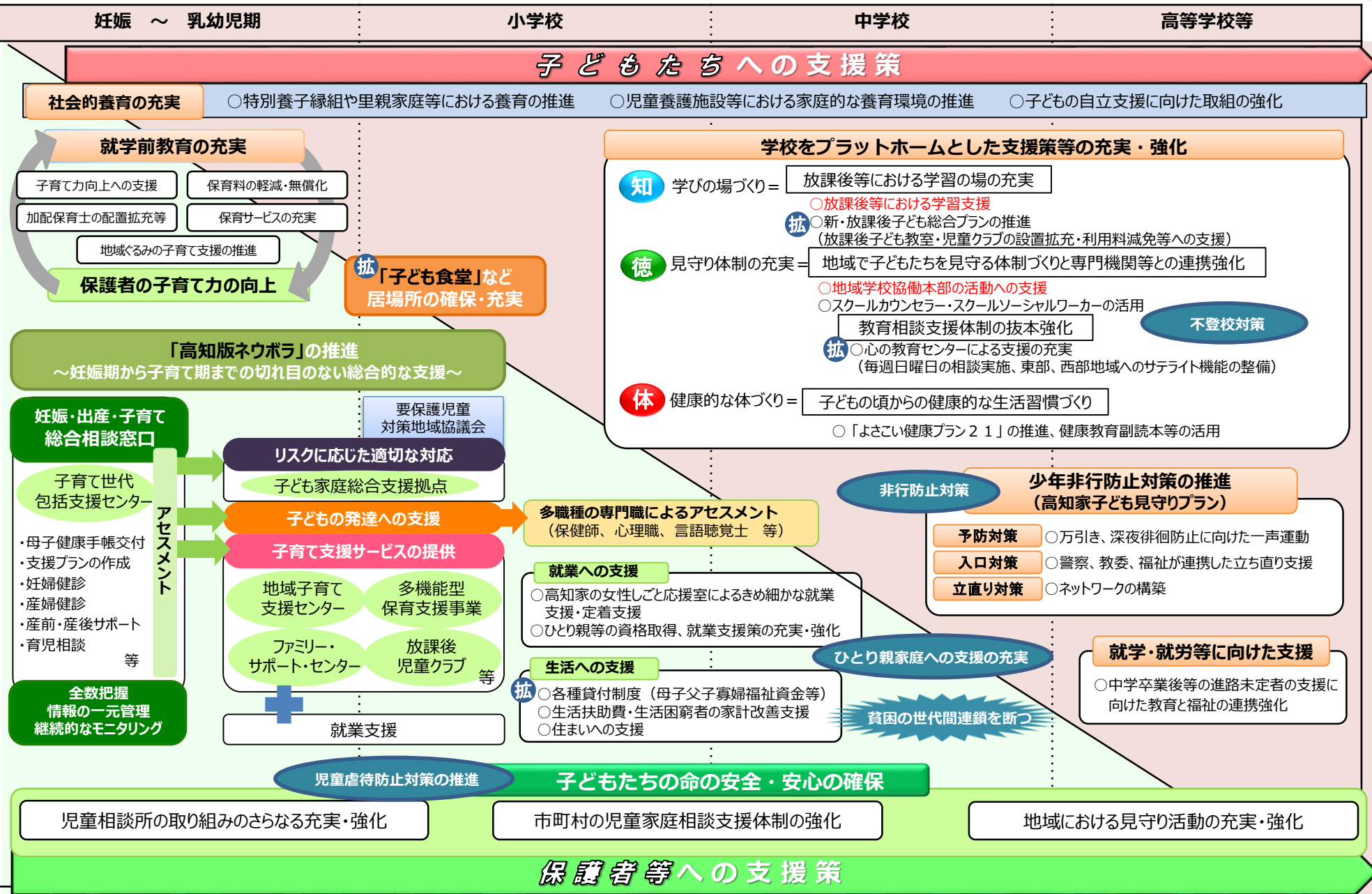
参考

【大目標Ⅱ】子どもたちを守り育てる環境づくり
(高知版ネウボラの推進、厳しい環境にある子どもたちへの支援)

【目標】高知県が『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」ができるような社会』になっている
(R元年度 → R5年度) 28.1% → 45.0%
※出会いから結婚・子育てまでの切れ目のない支援のための県民意識調査

※第2期高知家の子どもの貧困対策推進計画（令和2年3月高知県）より

子どもが夢や希望を持てる社会の実現



高知のキャリア教育3本柱 →

学力向上

基本的生活習慣の確立

社会性の育成

自らの将来を切り拓く力を育てる

見通しをもつ力・やりぬく力を育てる

かかわり合う力・自ら学ぼうとする力を育てる

豊かな心情・意欲・態度を育てる

就学前

小学校

中学校

高等学校

社会・上級学校

社会的・職業的自立

学力向上

- ◇各教科等の授業や単元等のガイダンスを工夫し、目的意識を高める。
- ◇各教科の学習内容を吟味し、生活との関連を深める。
- ◇職業に関することや人の生き方に関する内容を活用する。
- ◇日常生活における言語の役割や機能などについて意識や関心をもって正しい国語を用いることができるようにする。など

基本的生活習慣の確立

- ◇生活のリズムを習慣化させる。
- ◇返事やあいさつ、時間や約束を守ることができるようにする。
- ◇家庭学習の習慣化を図り、自ら学ぼうとする力を育てる。
- ◇読書を通して、自分と他者の気持ちを考えられる豊かな心を育む。など

社会性の育成

- ◇自分の役割や責任を果たし、役立っ喜びを体得させる。
- ◇社会と自己のかかわりから、自らの夢や希望をふくらませる。
- ◇職場見学等を通し、働くことの意義について考えさせる。
- ◇地域に関する副読本や教材等を活用し、郷土を愛する心を育てる。など

学力向上

- ◇各教科等とキャリア教育との関連性について正しく理解し、見通しをもつ力を育てる。
- ◇各教科等の特質と単元や題材などの内容を生かした創意工夫を行う。
- ◇学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させる。
- ◇日常生活における言語の役割や機能などについて意識や関心を持ち、正しく美しい国語を用いることができるようにする。など

基本的生活習慣の確立

- ◇生活のリズムを習慣化し、自己管理能力を育てる。
- ◇場に応じた返事やあいさつ、時間や約束を守ることができるようにする。
- ◇家庭学習の習慣化を図り、見通しをもつ力・やりぬく力を育てる。
- ◇読書を通して、自分と他者の気持ちを考え、自己の考えをもつことができるよう豊かな心を育む。など

社会性の育成

- ◇自分の役割や責任を果たし、自主性を高める。
- ◇社会と自己のかかわりから、自分の特徴に気づき、自分らしい生き方について考えさせる。
- ◇職場体験やボランティア活動等を通し、勤労観・職業観を深め、ともに助け合い生きる喜びを体感させる。
- ◇高知県に関する副読本や教材等を活用し、郷土を愛する心を育てる。など（キャリア教育副読本の活用）

学力向上

- ◇中学校段階までの基礎学力を定着させ、進路実現をイメージしながら学習に取り組みさせる。
- ◇専門的な知識・技能を身に付けさせる。
- ◇自分の考えを文章にしたり、発表するなど社会生活に必要なスキルを身に付けさせる。
- ◇物事を論理的に判断できる能力を身に付けさせる。
- ◇言語活動を活発かつ適正に行わせ、豊かな言語能力を養う。など

基本的生活習慣の確立

- ◇基本的な学校のルールを守ること、自己管理能力を高める。
- ◇社会で通用するマナーを身に付けさせる。
- ◇自らの進路を考えた家庭学習をできるようにする。
- ◇読書を通して感性を磨き、読解力や表現力、想像力を高め、人生をより豊かに生きる力を育てる。など

社会性の育成

- ◇主体的に社会の形成に参画していくために必要な思考力、判断力、コミュニケーション能力を育てる。
- ◇自分と他者が互いを認め合い、切磋琢磨し、自分の良さを伸長できるようにする。
- ◇「場」に合った言動ができるようにする。
- ◇インターンシップを通して社会に出る具体的イメージをもたせる。
- ◇郷土の将来を考え、自分の担う役割を自覚させるとともに、多くの人との触れ合いを通して、公共の精神を養い、グローバルな視野をもった人材を育てる。など

道徳性の芽生えを培う

道徳性の育成

高知県キャリア教育フォーラムの開催

連携協力

アプローチ【相互協力・相互理解】

連携協力

外部からの要望
学校等からの支援要請

家庭

地域

事業所

行政